2020年度住宅関連おすすめ補助金・助成金

長期優良住宅化リフォーム推進事業
住宅診断も補助対象

補助対象：既存の住宅の長寿命化や耐震・省エネ性能を向上させる工事、キッチン・浴室・トイレ・玄関を増設する三世代同居改修工事など

補助金額：補助対象工事の1/3
上限100万円（三世代同居対応改修工事を実施する場合、若者・子育て世帯又は既存住宅の購入者が改修工事を実施する場合、+50万円）

家全体のスペックを上げて長く住める お家にしたい!

高性能建材による住宅の断熱リフォーム支援事業
通称:断熱リノベ

補助対象：一定の省エネ効果が見込まれる高性能建材（断熱材、ガラス、窓）を用いた住宅の断熱リフォーム

補助金額：補助対象工事費の1/3以内
戸建住宅の場合上限120万円
（窓のみの改修は40万円）

戸建住宅の窓の結露や暑さ寒さ対策をしたい!

次世代省エネ建材支援事業
通称:次世代建材

補助対象：短期間で施工可能な高性能断熱パネルなどの省エネ建材を用いた住宅の断熱リフォーム、同時に行う窓・玄関ドアの改修

補助金額：補助対象工事費の1/2以内
マンションの場合上限125万円

マンションの壁の結露やカビ、窓の結露や暑さ寒さ対策をしたい

バリアフリー住宅改修補助事業
神戸市

補助対象：浴室・脱衣室・便所・廊下・階段・玄関の手すりの取付、段差解消工事

補助金額：
市民税課税世帯:対象工事費（上限18万円）の1/3（最大6万円）
市民税非課税世帯:対象工事費（上限18万円）の2/3（最大12万円）

高齢者に配慮した手すりの取付や段差解消をしたい!

住宅耐震化推進事業
無料耐震診断あり

補助対象：●本格的な耐震改修をされる方に改修設計費・工事費の一部を補助
●瞬時に倒壊に至らない程度の耐震改修をされる方に改修設計費・工事の一部を補助
●シェルターを設置する工事をされる方に工事費の一部を補助
●防災ベッド等の設置をされる方に設置費用の一部を補助

補助金額：各市町・各種異なりますので詳しくはお問い合わせください

昭和56年以前に建てられたお家の耐震化をしたい!

人生いきいき住宅助成事業
神戸市

補助対象：住まいの改良相談員が承認した、対象者の身体状況に応じたバリアフリー改造及び簡易耐震診断

補助金額：助成対象工事費の1/3以上及び簡易耐震診断費の一部。
介護保険制度などの住宅改修費と合わせて上限100万円/世帯

要介護または要支援認定を受けた方の身体状況に応じたリフォームをしたい!

※各種要件や募集期間がございます。

※バリアフリー工事に関しては、弊社が神戸市の事業者となるため、他の市町の補助金事業には対応できない場合があります。

※バリアフリー工事、省エネ改修工事、耐震改修工事は、所得税や固定資産税の減税対象になる場合があります。

※その他各種補助金制度がございます。

詳しくはお問い合わせください

世界が注目する（日本の）習慣の力。

株式会社四方継
代表取締役　高橋剛志

天恵の季節。

暑中お見舞い申し上げます。昨年の梅雨入りは確か6月の下旬だったと記憶していますが、今年は例年並みよりも少し早く6月10日ごろに梅雨になりました。早く梅雨に入ればその分梅雨明けも早くなれば良いのですが、お天道様のなさる事、自然の営みはそんな杓子定規にもいかないようで今年はジメジメした期間が少し長くなる様です。

とはいえ、雨は天の恵み。地球上の全ての生きとし生ける者にとって命の源であり、人の営みにもなくてはならない大切なもの。雨天が続くと私達、建築を生業にする者に取っては非常に厄介ではありますが、今年は天恵が多い年と前向きに捉える様にしています。暑い季節になりましたが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか？

コロナの影響の裏表

関西地方の梅雨入りにタイミングを合わせるかの様に、新型コロナの感染拡大の影響による緊急事態宣言も漸く全国的に解除され、徐々にいつも通りの日常が戻りつつあります。5～6月は県外をまたぐ移動の自粛を求められていたのに応じて、私も全ての出張をキャンセルして神戸市内に引きこもっておりました。

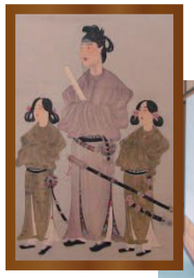
ちょうど、現在工事を進めている大型木造建築『インターナショナル・スクール新築工事』の着工時期と重なったため、10年ぶりくらいに基礎工事の現場管理を担当する事になり真っ黒に日焼けしながら現場に通い続けました。コロナの影響が良い方に表れておかげさまで基礎工事は順調に予定通り進みましたが、建て方と同時に梅雨入りとなってしまい、雨に随分と悩まされました。良いことと悪い事はいつもバランス良く訪れるものですね。

習慣最強説

ここ最近のニュースで、欧米諸国に比べると日本は新型コロナウィルスによる感染爆発が起こることなく、医療崩壊を回避できた事、また欧米諸国に比べて死亡率が圧倒的に低い事に対する評価が高まっているとの報道をよく耳にします。その理由は諸説ある様ですが、日本人が持つ良き習慣によるものだとの論調が多く見られます。私は様々な習慣を変えることでどうしようもかった人生を立て直してきた自分自身の経験則から、「第二領域」と言われる緊急性の低い重要な事柄に対して習慣付けをして取り組むことを、常日頃から社内外に強く推奨しておりまして、「結果は状態に由来し、良き習慣が思良き状態を作る」「習慣が思考を現実化する」と、習慣最強説を持論として唱えています。日本人の持つ良き習慣がコロナに打ち勝ったと言われるのはそんな私としてはとても嬉しく感じた次第です。

日本人が持つ3つの良き習慣。

一、普段からインフルエンザ対策などでマスクをする人が多くマスク着用に抵抗が少ない。
二、挨拶でお辞儀をする習慣があり、握手やハグのような濃密な接触をする習慣がない。
三、屋外から屋内に入るときには靴を脱ぎ室内を清潔に保つ生活習慣がある。



の三点で、確かにどれも日本古来より脈々と受け継がれてきた伝統的な習慣であり、それが世界を恐怖のどん底に叩き込んだパンデミックから国を守ることにつながったというのは本当に素晴らしいことだと思います。習慣の力が環境（状態）を整えて、成果に結びつける非常にわかりやすい良い例だと思いました。

令和は日本が規範を示す時代。

そんな日本人が持つ良き習慣の根底にあるのは、礼儀を重んじ他者を慮る「和の心」だと思っていて（私個人の私見ですが）日本で初めて一七条の憲法を制定した聖徳太子が第一条に「和を以って貴しとなす」と定められてたことが悠久の歴史を超えて現代の日本社会の危機を救ったといっても過言ではないと思うのです。

奇しくも今は令和。聖徳太子が行った律令政治の「令」そして第一条に書き込まれた「和」の心が元号に記された時代です。日本人が長い年月を超えて守ってきた考え方や習慣が世界に評価されまた規範となる時代がやってきたように感じています。良き習慣が運命を、人生を、そして世界を良き方向に変える。

パンデミックで世界中が混乱に陥った今、見直すべきはやはり、一人ひとりが取り組む良き習慣ではないでしょうか。世界の模範になるくらいの気概を持って、スタッフと共に真摯に毎日の習慣に取り組み続けたいと思う今日この頃です。

令和二年　六月吉日